

# みんなで語ろう会

ニュースレターNO.47 2016年9月発行

2016年8月17日に第53回“みんなで語ろう会”を開催しました。お盆が明けた猛暑の中、体験者6名(男性2名、女性4名)、ご家族1名(女性1名)、合計7名の方にご参加いただきました。今回はいつもより少なめのご参加でしたが、いつも以上に和気合い合いの語ろう会となりました。がんになってからの体の不都合やその克服。がんを患ったもの同士ならではのコミュニケーションの大切さなど膝を交えて話し合いました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す事
  - ・他の方のお話は評価しないで聞く事
  - ・サロンでのお話は守秘義務を守る事
- 以上三点です。自己紹介後のテーマに沿った語ろう会は、話のつきない2時間でした。

○抗ガン剤治療のあと、更年期障害の症状がでてきた。ばね指で手の指がうまく動かず悩んでいる。その上反対の足にも人工関節が入っていて杖をつくバランスに苦労するが、ようやく上手いバランスのとり方を見出した。

○口腔周辺のがんになり、手術後は液体を飲みこむことにも大変苦労した。でも少しずつ工夫をして大分食べられるようになった。友人と外食を楽しむことを目標にがんばりたい。

○初発の治療が終わった後、知人から「がんが治ってよかったね。おめでとう！」と声をかけられたが、「治療が終わった今の方が再発が心配で不安が大きいんだけど」と複雑な心境になった。

○同じがん患者同士だと深刻になりすぎずに病気について語り合えるのが良い。人工肛門の交換の失敗も患者同士なら笑って話せる。

○自分がかかったがんの情報は、インターネットで得ることが多い。同じ病歴の方のブログを読むことも有効だった。しかし膨大な情報を精査して取り入れることが大事だと思う。

○インターネットがなくても書籍の情報は大変役に立つ。大手の書店には専門書もあり、それを読むと勉強になる。今時は購入前の書籍も、テーブルに座って閲覧できるコーナーがあったりしてありがたい。

○がん患者さんを支えるご家族もご苦労が多いと思います。ご家族は第2の患者ともいわれています。無理をせずサポートしてください。

ごく一部ですがご紹介させていただきました次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

## 今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時  
2016年 9月21日(水)  
10月19日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室  
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族  
どちらの医療機関にかかっても参加できます。  
(申込みは不要です。参加費は無料です。)